

～ 春の小石川植物園 ～

「すこやか ふれあいウォーキング (1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

1年生の最初の遠足・・・もちろん小学校最初の楽しい思い出になるだろう。今年は1年生の副担任という、今までにやったことのない立場で、自然を対象とした活動、理科的な活動をサポートしたいと考えている。その一つ目が、今回の小石川植物園の遠足となった。活動名は「小石川植物園 すこやか ふれあいウォーキング」というちょっと冗長な名称になった。

本校では伝統的に、「学年愛称」と「学年マーク」というものがある。入学時の担任団が「こんな子どもたちに育ててほしい」という思いで、学年愛称とマークを考える。今年度は「すこやか学年」に決まった。マークは三日月をデザインしたもので、「すこやかに育て、いつか満月に成長する」という思いがこめられている。その「すこやか学年」の「親子ふれあいウォーキング」というわけだ。

私は自宅からも植物園が近く、実に数え切れないほど何度も訪ねている。中にある売店の方とも顔なじみである。しかし、子どもたちの活動となれば下見が欠かせない。事前に担任4人で、園内の様子、トイレの位置、集合解散場所、それにその季節の植物の様子などをよく見ておいた。

その結果、園内12カ所の植物を探しながら、ゆっくり散策するという方法に決め、子ども用の観察カード(台紙)を製作した。A4サイズの画用紙印刷で、「たんけんボード」にピッタリのサイズである。



目的の植物を見つけたら、それを観察し、該当するシールを貼るという活動だ。シールは、1シート48枚のインクジェット用の丸シール用紙に印刷した。写真もあるが、私が描いた画も入れて、ちょっと楽しい感じにしておいた。カード(台紙)は子どもに、シール(12枚綴り)は保護者の方に持ってもらうことにした。対象となる植物は、子どもたちが飽きることなく園内を回れるように、草本、木本、花、葉、果実、建物など、バラエティーに富ませた。

活動そのものは、いわゆる「ネイチャー・ゲーム」の簡単な形式のものと言ってよいだろう。事前に配布してしまうと、親子で「予習」してしまうので、カードもシールも、実施当日の朝に配布することにした。

23のちかく ぼだいじゆ はあとのかたち のはっぱ	74のちかく らくうしやう じめんから によきによき	11のちかく しばたきねんかん ひょうほんに さわれるよ	36のちかく すみれのはな かわしいはなが さいているかな?	32のちかく ひょうほんえん しらがのきは どこかな?
24のちかく すすかけのま きじみをつけて おとをさいてみよう	77のちかく ふしのみ ちいさなみが なっているかな?	12のちかく 「おんしつ」 「はにら」は どこにあるかな?	26のちかく しまさるすべり さわってみよう すべすべだよ	21のちかく ひまらやすぎ みのはへんが おちているよ
12のちかく れいおんしつ みやまおだまき さいているかな?	23のちかく くすのき ちっちゃいしるい はながさいているよ	しゅうりょう おめでとう シール	1ねん くみ なまえ いえのひとのなまえ	